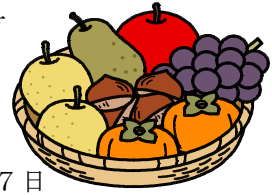


海 陽 風

平成29年9月27日



実りの秋をめざして ースポーツの秋・学習の秋・芸術の秋ー



秋晴れの晴天が続き、学習や運動に最適なさわやかな季節となりました。8日には、八戸市東運動公園内で市内陸上技会が行われ、5、6年生の選手が今まで練習してきた成果を発揮してきました。入賞した競技は全部で13種目で、20日の全校朝会で入賞者に賞状が渡されました。

また、8月28日には3年生の研究授業が行われ、本校教員が「自分の考えをもち、表現できる児童を育てる授業づくり」についての研修を深めました。児童が「あれ?」と興味をもって学習に取り組む方法やお互いに意見を交換する方法などの学習指導について教員が学び合いました。今後も、それぞれの学年・学級で、子どもたちの発達段階に即した指導を行い、「自

分の考えをもち、表現できる児童」のために取り組んでまいります。

現在、朝には学習発表会に披露する歌が各教室から響いて来たり、放課後には音楽部のテンポのよいドラムの響きが聞こえてきたりしています。2学期の大きな行事である学習発表会に向けて、少しずつ準備が始まってきました。きっと、素晴らしい学習発表会になるとと思います。どうぞ、ご期待ください。

2学期は、このように知育・徳育・体育面でそれぞれの「実りの秋」をめざして頑張ってください。ご家庭でのご協力、よろしくお願いします。

様々な危険から身を守るために

【不審者への対応の仕方 資料1】

- い → 知らない人についていかない。
- か → 知らない人の車にのらない。
- お → おおきな声でさけぶ。
- す → すぐにげる。
- し → すぐにしらせる。

子どもたちの周りには絶えず危険が潜んでおり、交通事故や不審者、地震、雷、津波など、そして近頃では飛来するミサイルにまで気をつけなくてはならない状況になってきました。

7月に行われた参観日でアンケートにご記入いただきましたが、自由記述欄に「いかのおすし」の内容を文書で渡してほしいという文面がありましたので、この機会にご説明したいと思います。この「いかのおすし」のルーツは、平成16年に警視庁と東京都教育庁が考えたものだそうで、今

【ミサイル発射時のJアラート発令への対応 資料2】

- ◎学校でミサイル発射の警報音を聞いたときは
 - ・グラウンドなど外にいる児童を校舎内に入れる。
 - ・ドアや窓を全部閉めて、できるだけ窓から離れて外を見ない。
 - ・机などに隠れ、身を低くして頭部を守る。
- ◎学校以外の屋外でミサイル発射の警報音を聞いたときは
 - ・速やかに建物の中に避難する。
 - ・近くに建物がない場合は、物陰に隠れ、身を低くし、カバン等で頭部を守る。
- ◎家庭でミサイル発射の警報音を聞いたときは
 - ・屋内に留まり、テレビやラジオから情報を得るよう努める。
 - ・ドアや窓を全部閉める。窓から離れて外を見ない。
 - ・机など丈夫なものに隠れ、身を低くし、布団や枕で頭部を守る。
- ◎近くにミサイルが落下したという情報があった場合には
 - 屋外にいる場合
 - ・口と鼻をハンカチで覆う。現場から離れ、建物の中に避難する。
 - ・落下物らしきものがあった場合には、近寄らず、すぐに警察・消防・学校に連絡する。
 - 屋内にいる場合
 - ・換気扇を止め、窓を閉める。
 - ・ガムテープなどで目張りをして室内を密閉する。
 - ・できるだけ窓のない中央の部屋へ移動する。



では全国各地に普及し、本校でも取り入れています。

資料1のように、いざというときにどうすればよいかを表したものです。児童には、不審者に遭ったら「いかのおすし」を思い出して行動するよう指導をしております。

ミサイルの飛来に関しましては、今、できることについて、資料2にあるように指導をしております。

一番の懸念は、児童の登下校途中にJアラートが発令されたときです。その際には、保護者や地域の方々にご協力いただくことが出てくるかと思っております。外にいる子どもたちに声をかけたり避難誘導したりしていただくことが大切です。どうか地域の子どもたちを守るために、お骨折りくださいますよう、よろしくお願いいたします。